

関係者間の合意形成（協議会等）の 望ましい姿

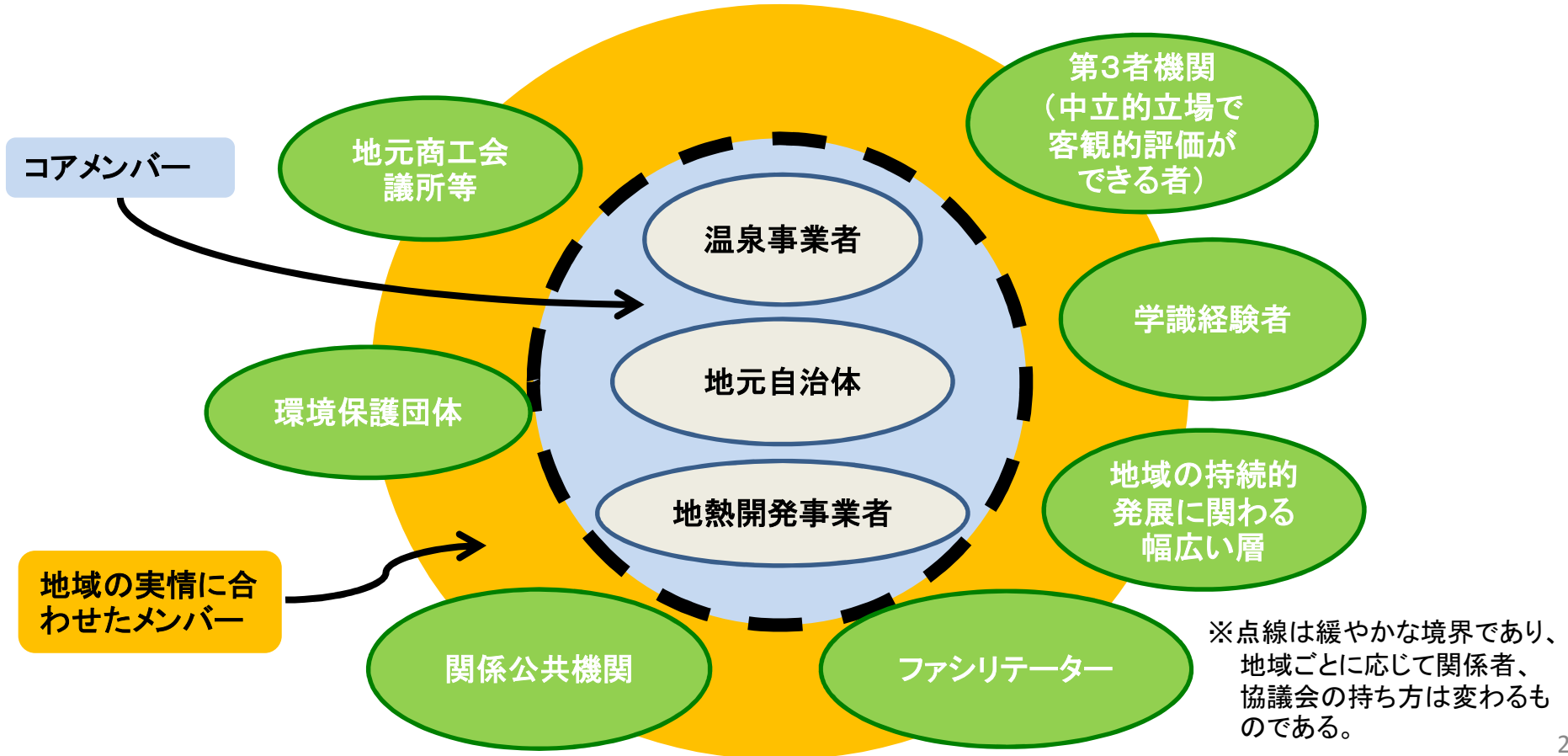
（参考資料）

関係者間の合意形成(協議会等)の望ましい姿

本検討会での方向性

温泉は地域共有の貴重な熱資源であることを踏まえ、地熱開発を行うに当たっては地域ごとに温泉資源の保護と地熱開発との共存・共栄を目指した合意形成の場を設け、関係者間の合意形成を図ることが重要

協議会の体制(イメージ)※



関係者間の合意形成(協議会等)の望ましい姿

協議会での重要なポイント

地元自治体が早い段階から協議会を発足させ、継続的に協議を行っていくこと

公平な議論を行える体制づくり(第3者機関、ファシリテーターの活用)

モニタリングによる科学的データの共有(グラフ化等、分析・可視化を行うこと)

全国画一的な議論ではなく、地域の実情に合った議論の実施

地域の将来を見据えた議論の実施

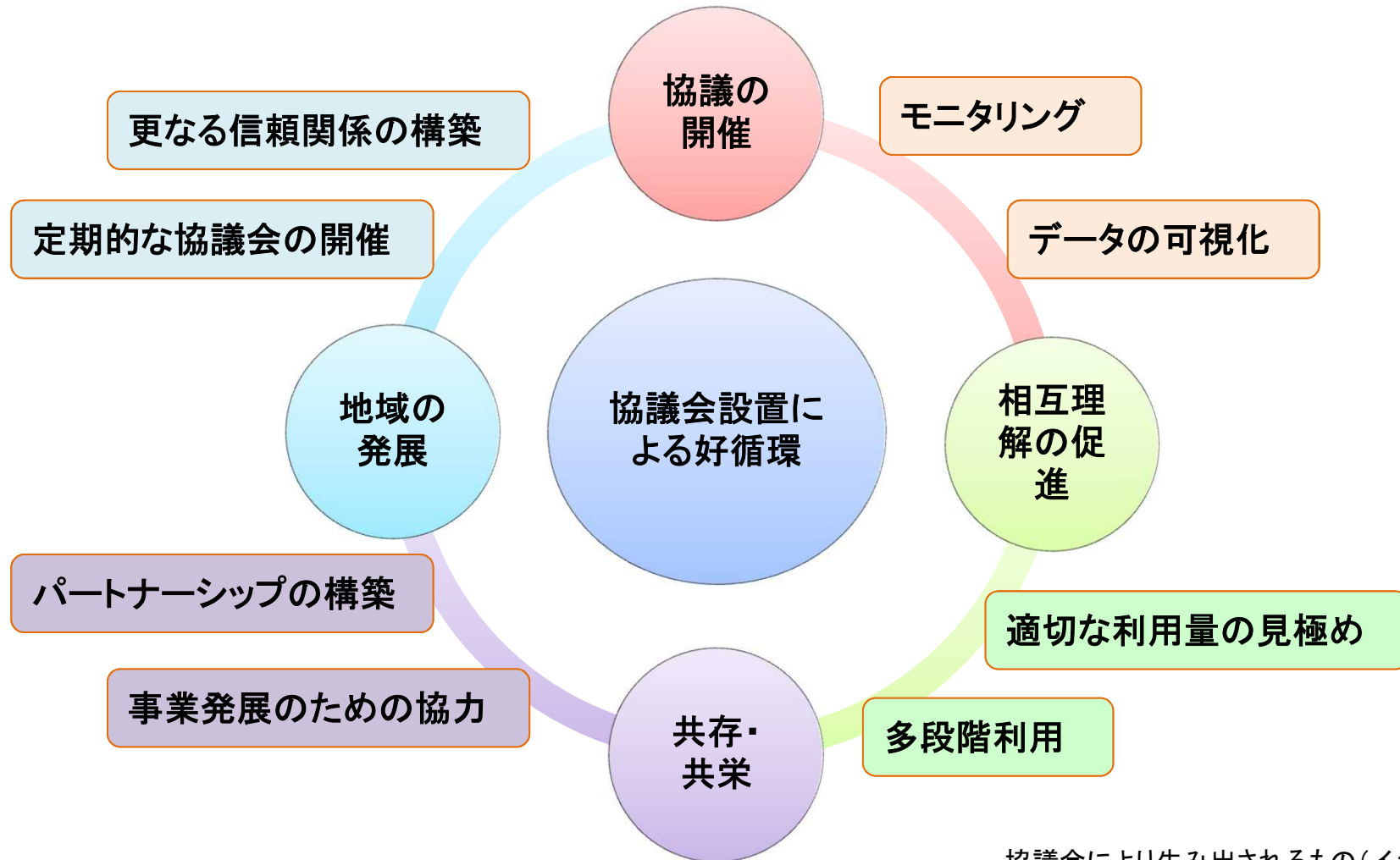
コンセンサスビルディング(利害関係者相互間の利益が合う条件を共に検討していく)

相互理解の促進(事業に対する丁寧な説明等の実施)⇒密接なパートナーシップの構築

関係者間の合意形成(協議会等)の望ましい姿

協議会で得られる成果

全国画一の議論ではなく地域の実情にあった協議等を行うことで、好循環を生み出す可能性が存在する



協議会により生み出されるもの(イメージ)